

出雲市放課後児童クラブの現状と課題について

1. 国の動向

(1) 平成 28 年度の子ども・子育て支援関係予算

国の社会保障の充実・安定化方針により、子ども・子育て支援の拡充のため、平成 28 年度は対前年度比 811 億円の増となっている。

- ・子ども・子育て支援新制度の実施 5,593 億円（平成 27 年度 4,844 億円）
 - ・社会的養護の充実 345 億円（平成 27 年度 283 億円）
- このうち、量的拡充予算が 3,719 億円、質の向上予算が 2,220 億円

(2) 放課後児童クラブ関係予算

放課後子ども総合プランに基づき、平成 31 年度までに約 30 万人分の受入児童拡充をめざし平成 28 年度予算は前年度から 3.3 万人増分の 582.7 億円となっている。

- ・放課後児童クラブ関係予算 582.7 億円（平成 27 年度 575 億円）
- ・受入児童の拡大（平成 27 年度）約 1,105 千人⇒（平成 28 年度）約 1,138 千人

<参考>

- ・運営費補助制度 … 子ども・子育て支援交付金
 - ※補助率：補助基準額又は控除後の補助対象経費の国 1/3・県 1/3
 - ※市町村のほか社会福祉法人等も対象
- ・施設整備補助制度 … 子ども・子育て支援整備交付金
 - ※補助率：補助基準額又は控除後の補助対象経費の国 1/3・県 1/3
 - （補助基準額：新築及び改築 24,964 千円）
 - ※市町村のほか社会福祉法人等も対象

2. 出雲市の状況

- (1) 箇所数 … 44 クラブ【資料 1】
- (2) 運営方式 … 公設民営（各地区運営委員会へ運営委託）
- (3) 対象児童 … 出雲市に住所を有する保護者が就労等により昼間家庭にいない世帯の小学校就学児童
 - ※平成 27 年度の児童福祉法改正により全学年が対象となる。
- (4) 開所時間 …（平日）小学校終業時～午後 6 時まで
（学校休業日）午前 8 時～午後 6 時まで【延長保育】未実施

(5) 市の財源内訳 (平成 28 年度当初予算)

①子ども・子育て支援交付金 132,056 千円

②使用料 (保護者負担金) 161,943 千円

※市が保護者から徴収 (月額) 7,000 円*減免制度あり

(6) 運営費 … 各運営委員会へ運営費として委託料を支出

平成 28 年度運営委託料 350,917 千円

※児童クラブ事業全体予算 363,000 千円

(7) 他市の状況… 【資料 2】

3. 量の見込に対する現状

(1) 入会児童の推移と量の見込み

(各年度 4 月現在、単位：人)

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
入会児童数	1,418	1,559	1,659	1,821	1,940			
1～3年	1,318	1,464	1,538	1,670	1,725			
4～6年	100	95	121	151	215			
児童数前年比	▲1	141	100	162	119			
1～3年	▲34	146	74	132	55			
4～6年	33	▲5	26	30	64			
不許可児童数	0	0	22	24	0			
量の見込				2,037	2,053	2,032	2,046	2,054
1～3年				1,524	1,570	1,527	1,543	1,548
4～6年				513	483	505	503	506

※量の見込数は「出雲市子ども・子育て支援事業計画」から抜粋

・全校児童数推計に平成 26 年度時点の入会率を乗じて算出している。

(1～3年生：32%、4年生16%、5年生10%、6年生5%)

・実績は、1～3年生の入会率を見ると、平成 27 年度が 34%、平成 28 年度が 36%となっており量の見込数を上回っている。

※児童福祉法の改正により、平成 27 年度から対象学年を 6 年生に拡大

(2) 平成28年度の児童クラブごとの学年人数内訳

①全体数 ※ () は全学年人数に対する割合

学年	出雲市 (平成28年度)		全国 (平成27年度)	
	人数 (人)	全学年に対する割合 (%)	人数 (人)	全学年に対する割合 (%)
1年生	666	34.3	346,232	33.8
2年生	590	30.4	301,006	29.4
3年生	469	24.2	225,934	22.0
4年生	154	7.9	93,003	9.1
5年生	33	1.7	37,673	3.7
6年生	28	1.4	20,039	1.9

②クラブごとの学年別人数内訳 … 【資料1】

4. 現行の運営における課題

【課題1】 開所時間延長等の保護者ニーズへの対応

延長保育や夏休期間のみの受入といったサービスについて、社会的背景や保護者ニーズの増加など、次の理由により対応が急務となっている。

①社会的背景

共働き世帯の増加や対象学年拡大により、児童クラブ入会児童は年々増加しており、午後6時までに児童を迎えに行くことができない事例が増えている。また、パート勤務の保護者の勤務時間帯によっては、放課後時間帯に帰宅できることから、長期休業中のみの受入が求められている。

<入会児童数>平成24年度：1,418人⇒平成28年度：1,940人(522人の増)

■児童クラブの全国の状況 … 【資料3】

②保護者ニーズの増加

「子育て支援・少子化対策に関するアンケート調査結果」(平成28年3月実施)をみると、今後利用したい制度は、児童クラブが473件と最多で、充実してほしい施策についても34%の希望がある。また、自由意見では、時間延長の要望が多い。

■子育て支援・少子化対策に関するアンケート結果 … 【資料4】

③時間延長が常態化している保護者への対応が必要

午後6時以降のお迎えが常態化している保護者への対応について、クラブによっては大変苦慮されている状況であり、他の保護者との公平性の観点から対策を講じる必要がある。

- 市内児童クラブにおける時間延長等の対応状況 … 【資料5】
- 学童受入実施保育所等の対応状況 … 【資料6】
- 他市の状況 … 【資料2】

【課題2】 放課後児童支援員等の人員確保

①平成27年度、国において新たに創設された放課後児童支援員は、学年ごとの発達段階や支援の必要な児童への対応など、専門性や資質向上に寄与する一方で、保育士、教員、社会福祉士等の資格や、2年以上の児童クラブ勤務経験が認定資格講習受講の要件となっており、資格取得のハードルとなっている。

- 指導員数及び指導員の属性、配置職員数 … 【資料7】

②入会児童の増加に対応するため、安定的に継続して放課後児童支援員や補助員を確保していく方策が必要である。

③児童クラブの勤務時間は、平日、長期休業中等で異なり、職員募集をしても集まらず、人材確保が困難な状況となっている。

【課題3】 施設の継続的な確保と拡充

平成27年度に国において児童一人あたりの面積基準について、概ね1.65㎡以上と定められた。現在、44クラブのうち6施設が基準を下回っており、さらに今後、ますます児童数は増加すると予想される。

今後、計画的に面積基準を解消し、施設確保、拡充を図る必要があるが、市単独による整備や新設等は、財源的に困難な状況であり、補助金を受けながら整備していく必要がある。

- 施設及び待機児童、施設拡充対応状況 … 【資料8】